

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2005-295505(P2005-295505A)

【公開日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-041

【出願番号】特願2005-15847(P2005-15847)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

H 03 M 7/36 (2006.01)

H 04 N 7/30 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

H 03 M 7/36

H 04 N 7/133 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月29日(2008.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

前記符号化手段は、

最上位のビットプレーンのビット位置を  $N_{max}$ 、 $n$  ( $0 \leq n \leq N_{max}$ ) 番目のビットプレーンの符号化データを  $C(n)$ 、その符号化データ量を  $L(C(n))$ 、1フレームの許容符号量を示す閾値を  $T$  としたとき、

$L(C(N_{max} - k)) = T$

を満たす最大値  $k$ までの符号化データ  $C(N_{max})$ 、 $C(N_{max} - 1)$ 、...、 $C(N_{max} - k)$  を有効な符号化データとして出力し、符号化データ  $C(0)$ 、...、 $C(N_{max} - k - 1)$  まで破棄することを特徴とする請求項10に記載の動画像符号化装置。